

# みんなの願いは窓口無料 おすすめ会ニュース 15-15号

2015年8月26日(水)

発行：福祉医療給付制度の改善をすすめる会

<http://www.medical-post.net/fukushi/>

(長野市高田中村276-8：長野県社保協内)

## 全国知事会「子ども医療費助成制度」の創設を提言 国保ペナルティー廃止強く要望



7月28日29日に開催された全国知事会議で、地方創生に関する「国への緊急要請」を採択し、石破地方創生担当大臣に手渡した。この中で、少子化対策の抜本強化を掲げ、全ての子どもを対象として「医療費助成制度」の創設を掲げた。山田知事会会長は、石破大臣に対して「われわれはいま地方創生に必死で取り組んでいる。取り組めば組むほど国の制度とは矛盾が出てくる」と指摘し、「少子化対策を一生懸命やって子どもの医療費を充実させていくと、厚労省から国保の(波及増カットの)ペナルティーがかかる、こうしたばかげたことは直ちに止めてもらいたい」と強く要請した。(8/10付国保新聞)

この国保のペナルティー廃止要求は、地方自治体から強く出され、今通常国会でも、共産党、公明党から「廃止」の要望が出されていました。こうした中、厚労省は、そのあり方を検討する場を設置することを表明していました。

「来年度予算の概算要求基準を受け、総務省は厚労省に対し、地方財政に影響する“波及増カット”

の見直しを申し入れ、援護射撃している。」(前述の国保新聞)

## 8/21 公明党県本部、「子ども医療費窓口無料化」要望を阿部県知事に提出

8月22日付け信濃毎日新聞は、公明党県本部は、21日子ども医療費の窓口無料化を進めるよう阿部知事に要望した、ことを報道しました。国は、国保補助金減額などについて見直す方針であり、同本部は、知事に対して「(国の)情報の取得に努め、遅れることなく見直しを行ってほしい」と求めたとしています。

今回の公明党の知事への要望書提出は、この間の我々の運動が大きく反映したものです。今まで窓口無料化に対して消極的であった公明党の行動によって、県議会での力関係の変化が考えられます。先の6月県議会開催中に「窓口無料化」要望書を提出した長野県小児科医会の動向が注目されます。